

活動テーマ

平成28年度
エコ・スクール
活動報告書

地球の環境を愛し、守れる人となろう。

平成28年11月24日、守山市立守山中学校の新校舎が完成し、632名の守山中学校生は新校舎での学習がスタートした。新校舎は、「琵琶湖からの風」や「太陽光」など、自然のエネルギーを最大限利用することにより、『消費エネルギー0』を目指すスーパーエコスクール校舎である。今後、守山中学校の生徒たちは、この校舎で学ぶことを通して、持続可能な循環型社会を構築する創造的な人間に成長していくことを目指していきたい。

平成28年度はそのスタートの1年として、昨年度までに実施してきた総合的な学習の時間、教科での環境学習、生徒会活動等を基盤に、新たに3つの活動をスタートさせた。今回は、これら3つの活動を紹介したい。



1 地球温暖化防止推進センター出前授業

(1) 目的

現在地球の抱える大きな環境問題である「地球温暖化」について知り、それを抑制するための私たちができる生活の工夫について考えるため、滋賀県地球温暖化防止推進センターの方に出前授業をお願いした。

(2) 各学年の取り組み

① 1年生

○地球にやさしい生活を考えよう

- ・かくかくしかじか地球温暖化
(クイズと説明)
- ・ワークショップ「アットホーム」
- ・各グループで考えたことを発表
- ・学校や家庭での夏の過ごし方を考える。

② 2、3年生

○私たちの生活により発生する温暖化ガス
～その発生のメカニズムを考えよう～

- ・かくかくしかじか地球温暖化(クイズと説明)
- ・ワークショップ「どこからどこへ」
～CO₂を出しているのはだれ～
- ・家庭や学校で自分たちのできることを考える。
- ・話し合ったことを発表。



(3) 成果

- ・地球温暖化について、視覚的な教材がたくさんあり、わかりやすかった。
- ・グループワークでは、指導員の方の助言で、理解が深まり活動がしやすかった。

- ・この学習を通して、生徒たちが自分自身の生活を振り返り、今後、地球環境保護のためどのように行動すれば良いのかについてしっかりと考えることができた。

(4) 課題

- ・初めての取り組みであり、教科学習や総合学習(守山市内・滋賀県内の環境施設訪問)と関連づけることができなかった。今後総合学習や教科学習の中での取り組みと系統性を持たせていく必要がある。

2 「つくった人の思いを未来につなげる」プロジェクト(守山中学校校舎改築動画の作成)

(1) 目的

新校舎作成にあたってかかわってくださった発注者、設計者、施工者といった多くの方々の思いを、現在や未来の守山中学校生に伝えるプロジェクトを生徒の手で行う。

(2) 動画ができるまで

① 企画会議Ⅰ(平成28年5月31日)

設計者によるミニレクチャー、現場見学設計者の方に、「2階建てにして光や風が入りやすい工夫をしていること」、「なるべくグラウンドを広く取ろうとしたこと」、「スーパーエコスクールになっていること」など教えていただいた。

② 企画会議Ⅱ(6月8日)

制作参加者の自己紹介とシナリオ案の作成、プロジェクトに参加した理由ややりたいこと等の自己紹介。「設計者、施工者、発注者に聞きたいことは何か。」全校生徒にアンケートを実施。手分けして集約、インタビュー内容を決定。

③ インタビューⅠ(6月29日)

現場施工者（この工事にかかわるいろいろな職種の方）にインタビューし、どういう仕事をされているのか、この校舎を作っているときの思いや完成したらどのように使ってほしいか等をお聞きした。

④ インタビューⅡ（7月26日）

発注者（守山市教育委員会）や設計者にインタビューし、発注者から設計事務所をコンペ方式で決定したこと、施工者を決定するまでのご苦労についてお聞きした。設計者には、何を大切にして設計しているのかといった設計コンセプト等をお聞きした。

⑤ ナレーション原稿の作成（夏休み）

インタビューした内容をまとめ、発表原稿を作成した。



⑥ 秋フェスタ（文化祭）で発表（9月30日）

（3）成果と課題

・ 成果

校舎建設に関わっていただいた方々（職人さん、大工さん、設計者さん）の声を新校舎を使う生徒が直に聞くことにより、たくさんの方の苦労や思いのこもった新校舎であることを深く知ることができた。また、その思いを、新校舎での学習を始める2か月間という大変良いタイミングで生徒の手で全校生徒に発信することができた。そのことによってこのプロジェクトに参加した生徒の多くが、後期生徒会の役員に立候補した。新しい守山中学校の伝統を重ねるために、様々な方の思いを語り継ぐ原動力となってくれることが期待される。

・ 課題

たいへん意欲的な取り組みであったが、有志による一部の生徒の活動にとどまった。今後、総合学習の中に組み込み、3年生全員による校区の小学6年生への「新守山中学校の紹介」へと拡大していきたい。

Ⅲ 新校舎を使った授業 「光の授業」

（1）目的

新校舎の、『昼光利用』のさまざまな仕組みを生徒たちが理解し、必要な明るさが確保されているにも関わらず、気づかないうちに無駄に使ってしまっている照明器具を「きちんと停止する」という仕組みを、体験を通して生徒たちに気づかせる。

（2）取り組みの概要 2月15日16日

①1、2年生クラスごとに担任による授業

②指導略案

・ 学習課題

校舎をとおして考える環境教育

「くらしの明るさについて考えよう」

・ 学習のめあて

自分たちが使う校舎に施された環境に配慮した工夫点を学び、校舎の適切な運用の仕方について理解する。

・ 学習の流れ（本時の略案）

○ 下敷きをサンバイザー代わりにし、照明当てクイズをする。

○ 教室の電灯を入り切りし、照度計を使用し、どれくらい照度が変化するか、比較する。

○ 調べたことをもとに、今後どのように照明を使っていくべきか考える。

Ⅳ 研究の成果

（1）地球温暖化防止活動推進センターと連携して、全校生徒が地球温暖化を知り、それを解決するために私たちはどのような生活の工夫が必要かを考えることができた。

（2）新校舎作成にあたって関わってくださった発注者、設計者、施工者といった多くの方々の想いを、現在や未来の守山中学校生に伝えるプロジェクトを生徒の手で行うことができた。

（3）総合的な学習の時間に、新校舎を使って環境に配慮した生き方を学ぶ学習（光の授業）をスタートさせることができた。

Ⅴ 今後の課題

（1）新校舎では自然エネルギーである「風」を取り入れる工夫も随所になされている。この工夫点を学び、校舎の適切な運用の仕方について理解を深める「風の授業」の計画と実施。（平成29年5月に計画）

（2）1、2年次の環境学習で学んできたことを活かし、3年次では興味深かったことを中心に探求活動に取り組み、校区の小学6年生に「新守山中学校の紹介」をする。（平成29年11月に計画）

（3）3年間の学習のまとめとして、これから守山中学校で学ぶ後輩たちに向けて、『このようにこの校舎を使って欲しい』という願いを込めた『守山中学校環境宣言』を作成する。

学校名	守山市立守山学校
住所	守山市石田町350
電話番号	077-585-0321
E-mail	morichu@usennet.ne.jp